

授業基本情報/Course base information

科目コード /Subject Code	R3A01000	ナンバリング /Subject Code	RXRES3002-A
科目名 /Subject Name	地域学総説A		
英文科目名 /Subject English Name	Foundations of Regional Sciences A		
担当教員 /Teacher Name	岡村 知子		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	3,4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	その他科目
曜日・時限 /Week・Hour	水 5	単位区分 /Week・Hour	必修または選択
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	専門科目		

授業概要情報/Course description

担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	<p>コーディネーター: 岡村知子(国際地域文化コース) サブコーディネーター: 石山雄貴(人間形成コース) コース担当教員: 稲津秀樹(地域創造コース)、田中大介(人間形成コース)、漆麟(国際地域文化コース)</p>
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	授業時間の前後
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	第1回の授業でお知らせします。
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	<p>皆さんは日常生活の中で、誰に、何を、どのような方法で伝えているでしょうか。特定の誰かにに向けたメッセージであれば、それ以外の人物に情報が伝わることはないよう、セキュリティを重視した方法を選ぶ必要があるでしょうし、誰彼かまわず、一人でも多くの他者に知らせたいことがある場合は、汎用性の高いメディアを選ぶと同時に、言語の壁や受け手の障害の有無等への配慮も求められるでしょう。</p> <p>大学という場においては、授業のレポートや「地域調査プロジェクト」の報告書、卒業論文など、アカデミズムのルールに則った表現を身につけることが一つの目標となりますが、そこで考察・分析の対象としているフィールドや文献は、上記のルールから逸脱し、言語化し得ないものを内包する複雑な世界として広がっているはずです。</p> <p>この授業では、「地域を見て、伝えること」というテーマのもとに、誰に、何を、どのような方法で伝えるのかを模索・追究し、職業やライフワークとして継続されている方々を講師としてお招きします。講師の方々が選び取られたメディアは、ドキュメンタリー番組、聞き書き、写真、YouTube、WEBマガジン、映画、TVドラマ等、私たちも情報の発信・受信に用いることのある身近なものですが、そこにどのような可能性と限界が見据えられているのでしょうか。2022年度の「地域学入門」のキーワードであった「いのち」や「生活世界の再創造」について、“表現”を着眼点として再考するとともに、地域を伝えるための新たなプラットフォームである「わたしワンダーWONDER」(https://watashi-wonder.com/)についても構想を膨らませることができればと考えています。</p>
キーワード /Keywords /4000文字以内	地域学、学際性、超学際性、想像力、メディア
到達目標 /Objectives /4000文字以内	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を受けとめるための調査や文献学習に、主体的に取り組めるようになること。 ・〈私〉は、誰に、何を、どのような方法で伝える(べきな)のかについて、具体的に構想できるようになること。 ・これまでの地域学部での学びを有機的に関連させていく想像力を体得すること。
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	「地域学入門」、「地域調査プロジェクト」、「地域学総説B」、「地域学総説C」との関連科目。

教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内	《参考文献》 ・第4回: 渋谷敦志『まなざしが出会う場所へ—越境する写真家として生きる』(新泉社 2019年) ・第6回: 清藤奈津子・智頭林業聞き書きプロジェクト『智頭の山の仕事師たち—智頭林業聞き書き』(智頭町 2022年)
授業の形式 /Classwork /4000文字以内	対面開講。講義形式を主とする。
成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内	授業へのコメント(5点×8回)と、期末レポート(60点)により総合的に評価する。
担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内	ご講義を聴いて気になったことは、勇気を出して講師に質問をしたり、心動かされたことについては自発的に調べ、時間をかけて考えてみることで、学びを深めてもらえるよう願っています。
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内	
教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内	本科目を受講して得られる知識や能力は、本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識) 現代的教養(特定の専門分野に関する理解) 現代的教養(論理的な課題探求と解決力) 現代的教養(創造性に富む思考力) 人間力(自律性に基づく実行力) 人間力(多様な環境下での協働力) 人間力(高い倫理観と市民としての社会性)
ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内	本科目を受講して得られる知識や能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定める「学生が本学における学修と経験を通じ身につける能力」のうち、以下に該当します。 1 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 2 現実に生起する様々な諸課題を探求し解決していくのに必要な、論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力 3 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心を持ち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力 4 高い倫理観及び責任感を持ち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協働して実践する力
実務経験 /Work experience /2者択1	無
実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内	

授業計画詳細登録 / Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1	5限: イントロダクション——地域学の現在地 6限: 『フラガール』上映会	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	岡村知子・石山雄貴・村田周祐
2	生活をどのように発見し、伝えていくか	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	篠田洋祐 (NHK ドキュメント72時間チーフプロデューサー)
3	山里の美しさに見出し、かかわる	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	清藤奈津子 (「山里文化研究所」代表)
4	まなざしが出会う場所へ——越境する写真家として生きる	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	渋谷敦志 (写真家)
5	アイヌの娘とアイヌじゃない父との対話——アイヌを見て、伝えることとは?	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	関根摩耶 (Youtuber/ 合同会社katak) 関根健司 (アイヌ語講師)
6	つたえる——身近な他者こそ面白い ※6限に『パッチギ!』を上映。	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	高橋ケンジ (『恵比寿新聞』編集長)
7	脚本家はどのように地域を描くか——『フラガール』はこうして生まれた	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	羽原大介 (脚本家)
8	「総説A」のまとめ、「総説B」への接続	本時の内容を整理する。	岡村知子・石山雄貴

授業基本情報/Course base information

科目コード /Subject Code	R3A07500	ナンバリング /Subject Code	RXRES3002-B
科目名 /Subject Name	地域学総説B		
英文科目名 /Subject English Name	Foundations of Regional Sciences B		
担当教員 /Teacher Name	岡村 知子		
クラス /Class		開講学期 /Class	前期
対象学年 /Lectures Target	3,4	開講時期 /Lectures Target	前期
講義室 /Room		科目区分 /Room	専門科目選択
曜日・時限 /Week・Hour	水 5	単位区分 /Week・Hour	選択
授業形態 /Lecture Form	一般講義	単位数 /Lecture Form	1.0
準備事項 /Matter of Prepare			
備考 /Note	専門科目		

授業概要情報/Course description

担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内	<p>コーディネーター: 岡村知子(国際地域文化コース) サブコーディネーター: 石山雄貴(人間形成コース) コース担当教員: 稲津秀樹(地域創造コース)、田中大介(人間形成コース)、漆麟(国際地域文化コース)</p>
オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内	授業時間の前後
担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内	第1回の授業でお知らせします。
授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内	<p>この授業では、「地域学総説A」で学んだ“地域を伝える方法”をふまえながら、さらにその外縁に光を当てていきます。「平和学習」という枠組みに収まらない、原爆をめぐる語りや(第9回)、地元の文化人をモデルとした登場人物を描きつつも、その顕彰に収斂しない文学作品(第10回)、「菌の声」に耳を傾けることで、人間中心主義的な世界観の外部を浮かび上がらせること(第11回)、“児童画には子どもの純心が表れている”という幻想を、画そのものを見続ける行為によって相対化すること(第12回)についての、伝達の当事者の方々のお話は、情報を受け取る側の固定観念を揺るがす動因となるはずです。</p> <p>また、上記の根底にある「識字」という営みは、どのような歴史的・現代的問題を孕んでいるのか(第13回)、さらに「見る主体」であると自覚していた自己を「まなざしの対象」として他者の前に差し出すことは、いかなる関係性の再編に通じているのか(第14回)について掘り下げて考えることで、改めて「わたしワンダー-WONDER」(https://watashi-wonder.com/)等のメディアを生かす取り組みについて模索してみたいと思います。</p>
キーワード /Keywords /4000文字以内	地域学、学際性、超学際性、想像力、メディア
到達目標 /Objectives /4000文字以内	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容を受けとめるための調査や文献学習に、主体的に取り組めるようになること。 ・「見ること」「伝えること」にまつわる固定観念を疑い、そこに働く力学に自身がいかにかコミットし得るかを考えられるようになること。 ・これまでの地域学部での学びを有機的に関連させていく想像力を体得すること。
他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内	「地域学入門」、「地域調査プロジェクト」、「地域学総説A」、「地域学総説C」との関連科目。

<p>教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内</p>	<p>《参考文献》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回:松本薫『日南X』(日南町観光協会 2019年)、「白化かしの村」(『吟醸掌篇』2022年6月)、『火口に立つ。』(小説「生田長江」を出版する会 2024年) ・第11回:渡邊格・麻里子『菌の声を聴け タルマーリーのクレイジーで豊かな実践と提案』(ミシマ社 2021年) ・第12回:鈴木浩『小学生が描いた昭和の日本』(石風社 2022年) ・第13回:豊永正男「私の人生」(『部落解放』808号 2021年7月増刊号)、川口泰弘「ばあさんとボク」(『部落解放』824号 2022年7月増刊号) 	
<p>授業の形式 /Classwork /4000文字以内</p>	<p>対面開講。講義を主とする。</p>	
<p>成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内</p>	<p>授業へのコメント(5点×7回)と、期末レポート(65点)により総合的に評価する。</p>	
<p>担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内</p>	<p>ご講義を聴いて気になったことは、勇気を出して講師に質問をしたり、心動かされたことについては自発的に調べ、時間をかけて考えてみることで、学びを深めてもらえるよう願っています。</p>	
<p>授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内</p>		
<p>教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内</p>	<p>本科目を受講して得られる知識や能力は、本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識) 現代的教養(特定の専門分野に関する理解) 現代的教養(論理的な課題探求と解決力) 現代的教養(創造性に富む思考力) 人間力(自律性に基づく実行力) 人間力(多様な環境下での協働力) 人間力(高い倫理観と市民としての社会性) 	
<p>ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内</p>	<p>本科目を受講して得られる知識や能力は、「卒業認定・学位授与の方針」に定める「学生が本学における学修と経験を通じ身につける能力」のうち、以下に該当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化、社会、自然に関する幅広い知識・理解、これを土台とした特定の専門分野に関する深い知識・理解、知識獲得のための方法と技能、そしてこれらを統合した豊かな教養 2 現実に生起する様々な諸課題を探求し解決していくのに必要な、論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力 3 地域から国際社会まで、幅広い興味・関心を持ち、自律的・主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力 4 高い倫理観及び責任感を持ち、他者との豊かなコミュニケーションをもとに、協働して実践する力 	
<p>実務経験 /Work experience /2者択1</p>	<p>無</p>	
<p>実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内</p>		

授業計画詳細登録 / Course schedule

回/Times	授業内容 /Course Contents	予習・復習内容 /Contents of Preparation / Review	備考 /Note
1	シュモーターさんに魅せられて——楽しい、広がる、伝わる	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	西村宏子(「シュモーターに学ぶ会」代表)
2	捉えがたい個人の相貌を描く——歴史的視点と現代的な問題意識	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	松本薫(小説家)
3	菌の声を聴け——タルマーリーのクレイジーで豊かな実践と提案	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	渡邊麻里子・渡邊格(タルマーリー)
4	自分に聞いた答えほど真実なものはない——60年代の小学生が描いた絵を(見る)	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	鈴木浩(「暮らしの映像社」代表)・中尾泰斗
5	読み書きの権利・歴史を綴る権利	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	黒川優子(元夜間中学教師・鶴見橋よみかきありがとうの会)
6	「魅力の予感」を路上に持ち出してみる——見ること・見られることの逆転	本時の内容を整理し、次回の授業に備える。	きむらとしろうじんじん(陶芸家・美術家)・屋台部の卒業生
7	「総説A・B」のまとめ、「わたしワンダー」への接続	本時の内容を整理する。	野口明生(totto)・岡村知子・石山雄貴